

平成27年度 西日本産業貿易コンベンション協会 事業報告書

I 公1：見本市・展示会事業（公益目的事業）

1 主催・共催事業

(1) 西日本地域の経済活性化や産業・貿易の振興に寄与するため、国や地域の行政機関等の施策や方針との連携を図りながら、各種の見本市・展示会等を企画・開催した。展示会等を取り巻く環境変化に対応するため、平成25年度より事業統廃合を進めると同時に、国や地方公共団体の政策展開の場としての展示会のテーマ開発やビジネス取引拡大の場づくりなど事業の再構築を行っている。

◆当協会が主催・共催した主な見本市・展示会 ()内は26年度実績

事業名	開催期日	入場者数	出展社数
西日本インポートフェア&食メッセ2015	5月2日 ～6日	43,999人 (48,298)	197社・団体 (194)
西日本製造技術イノベーション2015	6月17日 ～19日	15,096人 (15,203)	58社・団体 (46)
第41回ふくおか産業技術振興展			23社・団体 (23)
第37回西日本陶磁器フェスタ 第23回日本陶芸展 九州展	9月19日 ～23日	55,727人 (49,855)	209社 (205)
エコテクノ2015～地球環境ソリューション展～	10月7日 ～9日	28,432人 (54,008)	86社・団体 (98)
エコテクノ2015～エネルギー先端技術展～			99社・団体 (113)
エコ・ベンチャー・メッセ2015			24社・団体 (36)
中小企業テクノフェア in 九州2015			71社・団体 (64)
P.P.C.2015 第17回西日本国際福祉機器展	10月29日 ～31日	21,003人 (26,406)	151社・団体 (130)
SAFETEC2015 [第1回西日本防災・防犯危機管理展]	11月19日 ～21日	10,052人	85社・団体
合計	10事業 (9事業)	174,309人 (193,770)	1,003社・団体 (909)



【事業の効果的な推進に向けた主な取り組み】

ア 見本市・展示会の再構築

各展示会の目的や意義と社会・経済情勢などを勘案しながら、常に開催内容を見直しつつ、関心を高める努力を行った。

○「西日本製造技術イノベーション」におけるロボット産業振興の取組み

北九州ロボットフォーラム定期総会記念講演と併せて、今後、求められるロボットのあり方についてのセミナーを開催した。また、26年度に引き続き北九州市が推進する「産業用ロボット導入支援制度」の紹介や地元中小企業への産業用ロボットの普及促進を目的とした特別展示、セミナーを併催した。

○「エコテクノ」の一体開催

26年度に同時開催した「エコテクノ/エコ・ベンチャー・メッセ」と「再生可能エネルギー先端技術展」を、福岡県、北九州市、九州経済産業局、当協会の主催4社で協議を行った結果、「エコテクノ2015～地球環境ソリューション展/エネルギー先端技術展～」として一体開催し、来場者の利便性や回遊性の向上をはかった。

○「エコテクノ」出展内容の拡大・強化

26年度に引き続き、「先端農業・植物工場推進コーナー」を九州農業成長産業化連携協議会との共催でエコテクノのフェアインフェアとして開催した。

イ 国際化の推進

国内市場が縮小するなか、海外との取引拡大の機会提供に注力した。

○エコテクノ～地球環境ソリューション展～国際環境ゾーン

環境を軸とした産業の活性化に寄与することを目的に、エコテクノ2015において国際環境ゾーンを展開した。海外企業8社、2団体と海外投資支援機関1機関の出展により、商談と情報発信を実施した。

ウ 成果のあがる展示会の構築（継続的マッチング支援）

主催展示会での販売促進や商談の支援のため、出展社とユーザーとの橋渡しに努め、より大きな成果が得られるように会期前後の活動を強化した

○中小企業テクノフェア in 九州2015 ビジネスマッチング事業

大手企業OBの技術者で構成する「NPO法人北九州テクノサポート」と連携し、中小企業テクノフェア出展社の技術とノウハウを理解した上で、地元企業とのビジネスマッチングを促進した。

○製造技術マッチングフェア（商談会）の開催

「西日本製造技術イノベーション」、「ふくおか産業技術振興展」、「ロボット産業マッチングフェア北九州」の出展社を対象に、マッチングについては福岡県中小企業支援センターの協力を得て開催した。

(2) 主催・共催事業と並行して関連するセミナー、シンポジウムを開催した。

(138テーマ、参加者数6,480人)

2 関係団体との連携事業

(1) 主催事業における産学官連携

主催事業のうち、産業技術分野の展示会では、国、県、北九州市や大学、関係団体、研究機関等と連携し、効果的な事業推進を図った。

(2) アジアとの連携・交流

ア 韓国BEXCOとのMOU締結

平成27年10月に韓国釜山広域市のBEXCO（釜山国際展示場）とMOUを締結した。当協会の展示・コンベンション事業等の国際競争力の強化や九州地域全体のアジア展示会等への進出ニーズへの対応などの取り組みを開始した。



イ アジアの関係団体等への展示会出展誘致活動の充実

エコテクノに韓国大田広域市の福岡通商事務所を通じて韓国の環境系企業6社が出展し、エコテクノへの出展企業や来場企業との商談を実施した。また、韓国BEXCO（釜山国際展示場）の主催する「ENTECH釜山」とのブース交換により韓国企業2社が出展した。さらに、西日本国際福祉機器展内にて「KORECA」のPRブースを設けた。その他、西日本製造技術イノベーション2015においても（公財）福岡県中小企業振興センターを介して韓国大田広域市より11社・団体が出展した。

当協会からは、「ENTECHハノイ」、「ENTECH釜山」、「KORECA2015」にブース出展した。ハノイでは5社、釜山では1社の企業が参加し、アジア地域での取引拡大を図った。

ウ 福岡県・北九州市との連携

エコテクノ会期中、福岡県・北九州市と協力して、環境技術の輸出促進や国際競争力の強化を図ることを目的に、「ベトナム環境ビジネスセミナー」を実施した。

(3) 新規見本市の開発

ア 発酵ジャパン in 九州2015の開催

北九州市食の魅力創造発信室の要請により、北九州市の名物である「ぬかだき」のPRと食の市場を醸成するために「発酵ジャパン in 九州」の企画、開催に取り組んだ。会場では、北九州市内の大学とボランティアで発酵食品の料理コンテスト「ヌカオブザイヤー」を開催し、会場を盛り上げた。

II 公2：会議・大会等（公益目的事業）

1 誘致・支援事業

(1) MICEにおける国際競争力の強化が喫緊の課題となるなか、我が国の新たな方策である観光庁のグローバルMICE強化都市に、北九州市は平成27年6月に選定された。これを機に、国際会議誘致に向けた新たな取り組みに着手し、新たな誘致のフィールドを開拓した。なお、観光庁が作成した「MICE開催による経済波及効果測定モデル」によれば、27年度の当協会の誘致案件のみによる経済波及効果（間接2次波及効果、雇用効果を含む）の推計値は106億4410万円であった。

◆年間別開催件数の推移 (単位：件)

区分	国際	全国	その他	合計
27年度	75	91	113	279
26年度	63	103	132	298
25年度	37	102	89	228

◆年度別参加者数の推移 (単位：人)

区分	国際	全国	その他	合計
27年度	47,906	108,105	63,191	219,202
26年度	49,207	75,054	79,018	203,279
25年度	20,016	124,997	53,130	198,143

(2) 国際規模をはじめとする学会・大会等の誘致に積極的に取り組んだ結果、27年度の開催状況は、279件となった。

また、これらの誘致活動および開催助成金の効果的な活用成果として、28年度以降に合計136件（28年3月31日現在）のコンベンションが予定されている。

◆27年度開催の主な会議・大会

規模	名称	開催時期	会場	規模 (外国国数、人数)
国際	LAMP2015 第7回レーザ先端材料加工国際会議	H27年5月	北九州国際会議場	1,307人 (23カ国716人)
	アジアボディビル&フィットネス選手権2015	H27年6月	西日本総合展示場	1,645人 (20カ国1345)
	International Conference on Informatics, Electronix & Vision 2015	H27年6月	北九州国際会議場	380人 (13カ国212人)
	第142回日本歯科保存学会 2015年春季学術大会	H27年6月	北九州国際会議場 西日本総合展示場	3,000人 (6カ国60人)
	2015年 第4回村上春樹国際シンポジウム	H27年7月	北九州国際会議場	680人 (5カ国282人)
	第49回フラーレン・ナノチューブ・ グラフェン総合シンポジウム	H27年9月	北九州国際会議場	1,100人 (7カ国112人)
	公益社団法人自動車技術会 2015年秋季大会	H27年10月	北九州国際会議場 AIM	4,645人 (3カ国9人)
	第10回アジアドラマカンファレンス in Kyushu	H27年11月	リーガロイヤルホテル	450人 (6カ国360人)
	International Conference on Low Carbon City Design and International Workshop	H28年2月	北九州学術研究都市	540人 (9カ国410人)
	全国	第58回日本糖尿病学会 年次学術集会	H27年5月	門司港ホテル
第74回日本消化器内視鏡技師学会		H27年5月	西日本総合展示場	1,670人
全国生活指導研究協議会 第57回全国大会		H27年8月	北九州市立大学	1,319人
第55回全国国公立大学卓球大会		H27年8月	北九州市立 総合体育館	5,200人
日本オペレーションズ・リサーチ学会 2015年 秋季シンポジウム・秋季研究発表会		H27年9月	九州工業大学	647人
第52回全国港湾労働災害防止大会		H27年10月	北九州芸術劇場	1,400人
西日本 九州	第65回西日本学生体操選手権大会	H27年5月	北九州市立 総合体育館	4,500人
	平成27年度第55回西日本学生 バドミントン選手権大会	H27年9月	北九州メディアドーム、 北九州市立総合体育館	8,500人
	第1回日本心臓リハビリテーション学会九州 地方会	H27年10月	黒崎ひびしんホール	520人
	第56回日本肺癌学会九州支部学術集 会・第39回日本呼吸器内視鏡学会九州 支部総会	H28年2月	北九州国際会議場	564人



第52回全国港湾労働災害防止大会



いのちのたび博物館でのエコーパ・ニュー

2 主催・共催事業

国際会議場等を活用し、幅広い年齢層を対象に各種イベントを実施した。

◆ イベント・大会等の企画、開催（主催・共催） ※（ ）内は26年度実績

事業名	開催期日	入場者数
小倉まちづくりミーティング泡盛ナイトinくら	H27年9月29日 H28年2月2日	延べ400人 (延べ440人)
夏休みこどもシアター	H27年7月26日	263人 (464人)
冬休みこどもシアター	H27年12月23日	327人 (371人)
第15回全国女性俳句大会	H28年3月5日 ～3月6日	1,485人 (1,513人)
第24回北九州将棋フェスティバル	平成28年度に順延	0人 (710人)

Ⅲ 公3・収1・収2：貸館利用者の誘致・営業強化

1 営業体制の強化

(1) 既存利用者の利用定着化及び過去の利用者の利用復活

過去の展示場の顧客データを分析するとともに、利用頻度が減少等している顧客に対し、定期訪問による施設利用の働きかけや集客支援などの提案営業を実施し、結果として2件の利用の復活を実現した。

(2) 新規利用者の開拓

パソコンや農業、食品関連など22件の新規展示会や講習会等を開催した。

(3) 大規模イベントの実施

10月に「東京ガールズコレクション」を初開催、3月に「西日本釣り博2016」を約19年ぶりに開催した。

◆ 27年度 新規及び利用が復活した展示会・見本市等の誘致実績

催事名	会期
ミールソリューションフォーラム 2015 福岡	H27年5月20日～21日
ニティランドセル展示会	H27年7月5日
新商品内覧会	H27年7月13日
ヤンマー2015 アグリ大展示会	H27年7月15日～18日
パソコン基礎講習	H27年7月29日～8月7日
資金運用セミナー	H27年8月7日
北九州ゆめみらいワーク	H27年8月28日～29日
秋・冬メニュー食材展示商談会	H27年9月10日
パーキンソン病市民公開講座 in 北九州	H27年9月13日
CLIMAX of DARTS VOL12	H27年9月13日
平成27年度「全国ロープレ大会」(※復活)	H27年9月28日～29日
東京ガールズコレクション	H27年10月17日
秋の夢博(※復活)	H27年10月23日～26日
西日本釣り博 2016 出展説明会	H27年10月26日

パソコンビジネス活用講習	H27年11月2日～6日
中小企業新ものづくり・新サービス展 2015 出展説明会	H27年11月13日
マンション管理員講習	H27年11月20日
中小企業新ものづくり・新サービス展 2015	H27年12月7日～9日
講習 & ワークショップ	H27年12月19日～20日
シニアワークプログラム パソコン基礎講習	H28年2月4日～16日
KYUSHU MASTERS CUP in KITAKYUSHU	H28年2月7日
第7回ライト電業オリジナル展示会 2016	H28年2月16日
西日本釣り博 2016	H28年3月19日～20日
シニアワークプログラム地域事業 就職支援	H28年3月25日～30日

2 閑散期対策等のイベントコーディネート

(1) 閑散期対策にぎわいイベント

夏季・冬季ににぎわいイベントを実施した。夏季には「トミカ博 in KITAKYUSHU」「巨大いきもの大冒険!!」、冬季には「チャギントンランド in 北九州」「日本全国!鉄道ひろば2016 in 北九州」開催した。夏季・冬季のにぎわいイベントで、合計18万人の入場者数を記録した。

(2) ビジネスイベントのコーディネート

北九州市が主催となり初開催した「発酵 JAPAN in 北九州」と、デジタルものづくりクリエイターの祭典「北九州モノカフェ2015」(公益財団法人九州ヒューマンメディア創造センター主催)、「第4回北九州EXPOフリマ」を同時開催することで、2日間で約3万人の入場者数となった。ビジネスイベントのコーディネートを行うことで、新規のイベントの開催を促進した。

◆ 27年度 閑散期対策・ビジネスイベント等

催事名	会期	入場者数
トミカ博 in KITAKYUSYU	7/17～22	58,799名
巨大いきもの大冒険!!	8/1～31	48,677名
発酵JAPAN in 北九州	11/7～8	12,900名
北九州モノカフェ 2015	11/7～8	8,000名
第4回北九州EXPOフリマ	11/8	8,200名
チャギントンランド in 北九州 2016	1/2～4、1/9～11	35,694名
日本全国!鉄道ひろば 2016 in 北九州	1/2～4、1/9～11	37,712名
合計		209,982名



トミカ博 in KITAKYUSHU



日本全国!鉄道ひろば 2016 in 北九州

IV 公1・公2・公3・収1：広報・宣伝、地域連携

1 広報、宣伝

ホームページを見やすく迅速な情報発信ができるようリニューアルした。トップページでの展示場や会議場で開催されるイベントの最新情報の提供をはじめ、施設の紹介、協会の主催事業やコンベンション誘致に関する情報を提供した。



リニューアルしたホームページ

2 地域連携

小倉駅新幹線口エリアの地域振興団体と共同で、異業種交流会や地域清掃イベント等を行うなど、地域の一体感形成に向けた活動やにぎわいづくりにも取り組んだ。

さらにJR主要駅に近接しているという施設の特徴を生かすため、JR九州及びJR西日本との連携による、効果的な主催事業等のPRを行った。



小倉まちづくりミーティング 泡盛ナイト



Loveあさの クリーンアップ活動

V 公3・収1・収2：管理・運営

1 お客様満足度の向上

(1) サービスの向上

当協会ホームページ上からの申請書ダウンロードを可能にし、業務の効率化を行ったほか、現場でのツール作成の支援や消耗品の提供等、お客様の安心と信頼を得る取り組みを行った。

(2) 職員の資質・能力の向上

専門講師を招いた事業企画書作成などの職場内研修、民間研修機関主催の管理職セミナーへの職員派遣、「国際会議場施設協議会」や「全国展示場連絡協議会」の担当者レベルの実務セミナーへの参加等を行った。

実務面でも日頃の現場での経験を積むことで職員の危機管理に対する意識とスキルをさらに高めることができた。

2 利用料金制度の活用

平成26年度に新設したスポーツ利用及び名古屋市との相互利用割引制度が利用されはじめた。今後もこれらの特別料金制度を活用することで、さらなる施設の利用を促進する。

3 管理業務の効率化

消費電力の削減やLED化による電力使用料金の低減や、メーカー保証期間を勘案した上で点検回数を改めるなど委託費全般について節減に努めた。

4 施設の改修等

お客様の利便性、安全性の向上等を図るため、施設設備の改修更新等を行った。

- *展示場本館：雨漏れ防止と消防設備の改修等工事、ガスヒートポンプ空調設備の更新の準備
- *展示場新館：地下駐車場精算機管理システム、外壁の照明器具更新等工事
- *国際会議場：メインホール音響整備改修等工事
壁面塗装、貸出用ICレコーダー・会議用長机購入等

5 施設の稼働率等

◆西日本総合展示場本館の利用状況

区分	件数 (件)	稼働日数 (日)	稼働率 (%)	入場者数 (万人)
27年度	72	279	77.5	30
26年度	70	277	78.7	40
25年度	67	240	65.8	32

◆西日本総合展示場新館の利用状況

区分	件数 (件)	稼働日数 (日)	稼働率 (%)	入場者数 (万人)
27年度	166	297	84.1	65
26年度	159	281	81.7	46
25年度	170	284	78.2	50

◆北九州国際会議場の利用状況

区分	件数 (件)	稼働日数 (日)	稼働率 (%)	入場者数 (万人)
27年度	548	319	90.4	7
26年度	577	321	91.5	7
25年度	513	317	88.3	7

6 合併に向けた検討の着手

組織基盤の強化、拡充を図り、MICE誘致及び観光振興をより一層推進するため、公益社団法人北九州市観光協会との合併に向け、検討に着手した。

7 指定管理

指定管理期間(26年度から30年度)の2年目であった27年度は、指定管理計画に掲げた目標(来場者数(展示場・会議場)75万人、コンベンション誘致件数185件など)を概ね達成(来場者数102万人、コンベンション誘致件数257件など)した。

<参考>平成27年度 北九州市のMICE開催実績

区分	件数	参加人数	経済波及効果(間接・雇用効果を含む)
会議・大会等	279件	219,202名	10,644百万円
見本市・展示会・イベント	21件	422,515名	5,301百万円
合計	300件	641,717名	15,945百万円

※開催実績の対象は、以下の2つの条件を満たすもの。ただし、展示即売など主に営業目的とするものは除く。

①北九州市MICE誘致推進本部事務局(北九州市産業経済局観光にぎわい部及び当協会)が誘致・開催支援・実施したもの。

②北九州市地域以上を参加規模とするもの。

※経済波及効果は、観光庁の「MICE開催による経済波及効果測定モデル」により算定。